

お知らせ

いの町・三井協働の森で環境研修開催される

10月13日、高敷のいの町・三井協働の森において、三井物産、高知県、NPO土佐の森・救援隊、いの町の関係者総勢51名が参加して、環境研修が開催されました。

町では、平成18年度に三井物産(株)四国支店と三井物産環境基金助成契約を締結し、本川地区の町有林に約50ヘクタールのいの町・三井協働の森を設定しました。平成18、20年度に三井物産の助成でNPOによる森林整備が実施さ



集積作業



間伐作業

れています。契約の一環として三井物産の方々が協働の森を訪れ林業作業を体験する環境研修を開催しており、今年が2年目です。

現地に到着した23名は、最初にチェーンソーの使い方の指導を受けました。

その後、林地残材を木質バイオマスエネルギーとして活用するための集積作業を体験しました。伐倒済みの木から枝を払い、袋に詰め、林内作業車で林道まで運び出しました。

昼食時は、青空の下、林地に腰を下ろし弁当を広げました。林内に鍋を持ちこんで煮た特産のキジ汁が好評でした。

午後、間伐作業を体験しました。チェーンソーに初めて触る人もいて最初は逃げ腰でしたが、県職員やNPO隊員から伐倒手順や倒れにくい場合の処理について指導を受け、交代で各人が数本を伐倒しました。

作業後は、道の駅木の香に移動し、温泉で汗を流した後、交流会で親交を図り、日

程を無事終了しました。

環境先進企業三井物産が、高松から水源を遡り、吉野川源流のいの町で林業作業を体験して、森林整備に携わる者と親睦を深めた意義深い研修でした。

後日、三井物産から、参加者が早くも次回の研修を待ち望んでいるという嬉しい知らせが届きました。



記念撮影

お知らせ チャイルドシート 貸付終了のお知らせ

チャイルドシート貸付事業は、当初より、少子化対策の一環として、乳幼児の自動車乗車中の安全を確保し、チャイルドシートの着用使用率向上を図る啓発活動を実施して

まいりました。その間、チャイルドシートに対し本町を含め各方面から広報活動が行われ、道路交通法改正の周知が図られたことや着用効果の認識等が一定水準まで向上したことから、当初の事業目的はおおむね達成されたと考えております。

また、現在の貸付用シートは事業開始から5年以上が経過し、使用・耐用年数の経過等による劣化など、安全性の問題も発生してまいりました。

以上の理由により、新規のチャイルドシート貸し付けは平成20年3月末をもって終了とさせていただきます。(現在貸し付けをご利用の方につきましては平成21年3月末までに返却してください。)

なお、チャイルドシートの使用は義務化されており、実際は必ずご使用ください。

問い合わせ

福祉課

吾北総合支所ほけん福祉課

867-2312

本川総合支所ほけん福祉課

869-2114

水道管の「冬じたく」をお忘れなく

気温が摂氏マイナス4度以下になると、水道管の水が凍ったり、水道管が破裂することがあります。特に水道管が次のような所にある場合は、防寒に注意してください。

- 北向きの寒い所にある場合
 - 日照時間の短い所にある場合
 - 風当たりの強い所にある場合
- このような所にある水道管は、ご家庭で次のような「防寒策」をお願いいたします。

○簡単な凍結・破裂防止法
手近にある布などを露出している水道管に巻きつけて保温し、さらに上からビニールテープなどを巻きつけます。

これは、先に巻きつけた布などの防寒材がぬれたため水道管を凍らせ破裂させることを防ぐためです。

気温が下がって、凍るおそれのある時は水を少しずつ出しておいてください。水道管が破裂してしまつては、たくさんのお水がムダになってしまいます。水道管にも温かい思いやりをお願いします。

上下水道課水道係